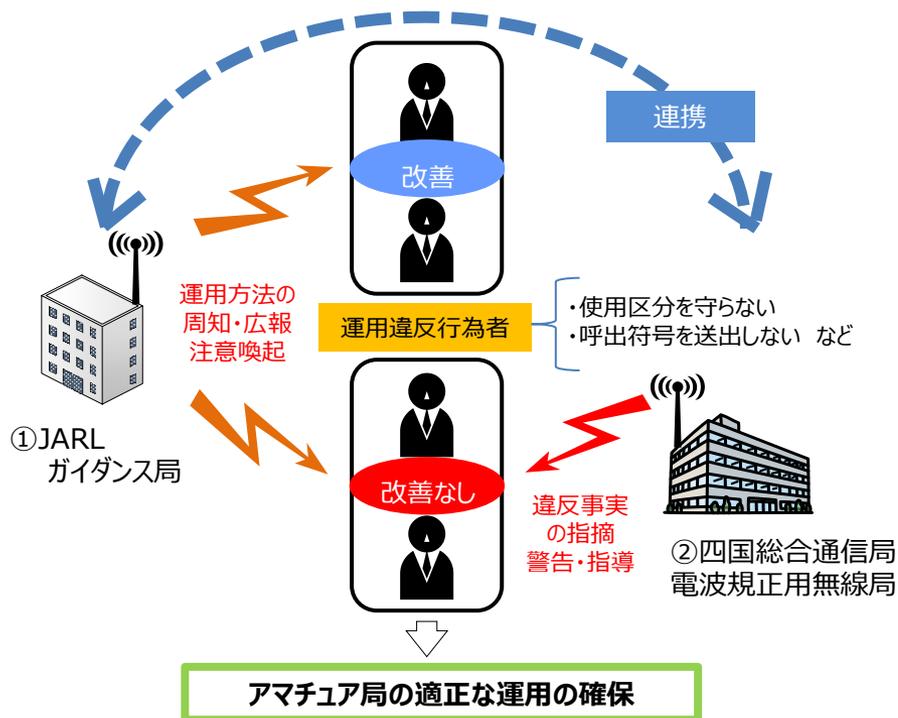


平成8年以降、アマチュア無線局の不適切な運用に対してガイダンス局を活用した指導を行うとともに、昨年10月に四国内で初めて四国総合通信局と連携した指導を行うなど、アマチュア無線局の適正な運用の確保に多大な貢献をされました。

四国総合通信局と一般社団法人日本アマチュア無線連盟（JARL）が協力して、アマチュア無線局用に割り当てられた周波数の使用区別を守らない人、運用に際して呼出符号を送出しない人などの違反に対して、無線局の正しい運用を促す目的で、電波で注意喚起のメッセージを送出しました。

注意喚起後には、呼出符号を正しく送出的ように改められたり、正しい使用区分へ移行するなど改善がみられ運用に効果があることが確認されました。

[JARLと四国総合通信局の連携した取組]



平成26年10月2日四国総合通信局・(一社)日本アマチュア無線連盟連携運用（場所：坂出市）